

## 気候変動適応研究プログラム

	委員会の主要意見	主要意見に対する国環研の考え方
現状についての評価・質問など	<p>3つのプロジェクトが体系的に構成されており、順調に進捗している。特に PJ3 の気候変動影響からの地域の類型化は、新しい研究分野として難しさはあるだろうが、大変有用な成果が上がっている。また他の PG との連携も考慮して進められている。特に地域気候変動適応センターと協力して進められる研究は、日本の各地域の適応計画や適応策策定に大変重要なものとなるので、より一層の研究の進展を期待する。</p> <p>気候変動影響の地域性分析については、今後の適応策のベースになると思われ、大変重要な成果である。</p> <p>道東の大規模赤潮についての成果は、今後の発生予報につながり重要である。気候変動との関連性についても今後取り組むとのことであるが、「イベント・アトリビューション」の手法は海洋では難しく十分な検討の必要がある。</p> <p>ウミニナの研究において、将来気候変動の影響を受ける子供世代を加えた研究ができたことは評価される。</p>	<p>ご評価いただきありがとうございます。地域気候変動適応センターとの共同研究を推進するとともに、研究適応 PG の成果を地域の適応計画や適応策策定に貢献できるように工夫するように努力いたします。</p> <p>ご助言ありがとうございます。海洋でのイベント・アトリビューション手法の難しさは認識しておりますが、チャレンジングなものを含め可能性を探求していきます。</p> <p>評価いただきありがとうございます。より効果的なリスクコミュニケーションについても探索していきます。</p>
今後への期待など	<p>気候変動の影響と適応のクラスター化は興味深い成果である。ぜひ、一般市民に理解しやすい形で発信してほしい。</p> <p>様々なテーマで着実に成果をあげていると思います。このような知見を市民や企業がどのように捉えて具体的な行動に移してくれるのか反応や道筋を知りたいと思います。</p> <p>日本の気候変動適応の中心的存在として、今後とも大学等と連携して国内外の学術、地域への実践の推進のキープレーヤーとなる事を期待する。</p>	<p>一般市民への発信についてより探求していきます</p> <p>ご指摘ありがとうございます。市民や企業が科学的な知見を得てから具体的な行動に移す際の反応や道筋については、適応センター全体としてその把握と促進に取り組んでいきます</p> <p>ご助言をありがとうございます。大学とは、これからもより強く連携したいと考えております。</p>